

◆練習走行&予選について

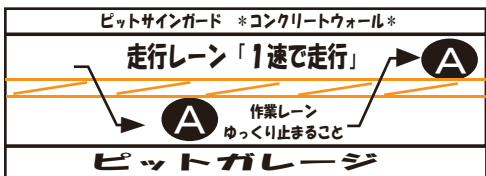
- ①予選は規定の時間内でのベストタイムを採用します。ベストタイムの順番で決勝グリットが決定します。
- ②最低でも3ラップ以上連続して走行しなければ計測できませんのでご注意ください。予選を走行しないチームは最後尾グリットよりスタートすることになります。
- ③練習走行時間を用意しているので登録ドライバーは全員走行するように心がけてください。

◆スタート進行(スタート方法)

- ①スターティンググリットは、予選終了後に予選結果表にて発表いたしますので各自で確認。
- ②グリットに着くために ” ゆっくり ” 1周のサイティングラップを行い、スターティンググリットについたらエンジンを停止し待機。
- ③全車が整列したら最前列で、耐久レースを開始する「1分前」「30秒前」の合図が出ます。その後「緑色の旗」が出ますのでペースカーの後ろについてスタート。
- ④2010年8月からは、ペースカー先導のウォーミングアップの開始と同時に ” 耐久レースのタイム計測もスタート ” します。
- ⑤ウォーミングアップ走行中は時速「40km/h」でペースカーは走行します。
- ⑥ウォーミングアップ走行中はコースサイドの監視ポストで「レドクロス(白旗に赤×)」を提示していますので追い越し等は禁止です。
- ⑦1ラップ終了時点でペースカーはピットインします。ポールポジションの車両は速度を40km/hを維持してストレートを立ち上がって来て下さい。
- ⑧フラッグタワーの手前50m位に先頭の車両が来たら「GOサイン&緑色の旗」を出すので、そのサインが出たらレース開始になり各車追越しもOKとなります。
- ⑨レース開始と同時に監視ポストで出されていたレドクロス(白旗に赤×)は撤去され”緑色の旗”を振動表示しますので、この緑色の旗が振られたら各車追越しOKです。

◆ピットロードの走行について

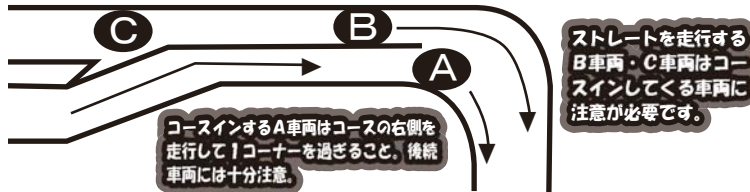
「走行レーン(走るところ)」と作業レーン(停止するところ)」に分かれているので、十分注意して走行する事。



ピットロードはいろいろな方々がいまので ゆっくりと1速で走行すること、停止する時は自分のピット前で速やかに停車すること、ピットガレージ(シャッター)前を走行は禁止、ピットロードは安全にね。

◆コースインする時の注意事項

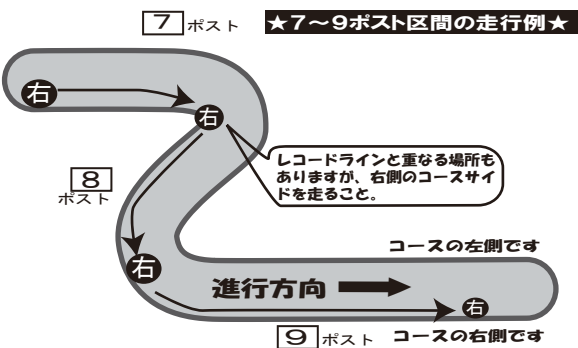
- ①コースインするときはフラッグタワー(オートボックス看板)横までは1速で走行すること。フラッグタワーを過ぎたらシフトアップ&加速してもOK!
- ②フラッグタワーを過ぎてホームストレートに合流した車両は、コース中央に引かれている「白線」に触れてはいけない。横断してコース左側のレコードラインに合流することは一切認めない。もしも白線に触れてしまった場合にはペナルティーが与る。
- ③コースイン信号機の指示に従うこと。
 - 青信号が点灯していたら「コースイン可能」
 - 赤信号が点灯しているときはいかなる場合も「コースイン禁止」



*1コーナーを立ち上がるまではコースの右側を走行すること。

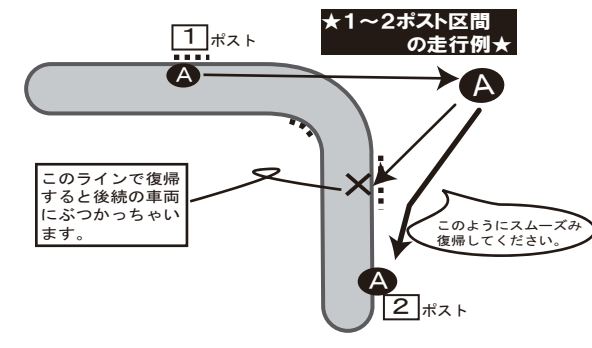
●お願い② スロー走行する場合●

クリアラップを狙ったり、車両の調子が悪く「スロー走行」する場合は、「ハザードランプを点滅」させて、左右に”ふらふら”走行ラインを変更することなく、進行方向の右側のコースサイドを走行してください。白煙等のオイル漏れが疑わしい場合は、進行方向右側のランオフエリア(芝生エリア)に車両を停車させてください。



●お願い① コースアウト後の復帰ライン●

コースアウトしてからコースに復帰する場合には、コースに沿ってスムーズに合流してください。「急いで」コースに復帰することはありません。



◆違反(ペナルティー)について

初めて参加する方も多いイベントなので「なにが違反なの?」とわからない方が多いと思いますので、下記に違反内容を書いておくので確認してね。

- ①サーキット走行中に他の参加者及びスタッフ、観客、他に ” あぶない ” と思われる行為は全て違反とします。
 - ②朝のミーティングで説明した事を守れない方は違反です。
 - ③男気を感じれない方は違反です。
- 違反内容によりペナルティーは変わるのでその都度チームに告知します。*違反しないように安全に走りましょう。

◆順位の決定について

- ①ゴールチェッカーをコース上で受けたチームに順位があたります。P i tやコース停止中にチェッカーが出たら順位はない。
- ②周回レースの順位の決定は、定められた周回数を先に終了しチェッカーフラッグを受けた順番。

◆表彰について

- ①クラス毎および総合で表彰します。
- ②成立は1台以上
- ③表彰数はクラス毎に参加台数(申込期日)で決定。
 - ・3チーム以下の場合には1位のみ
 - ・6チーム以下の場合には2位まで
 - ・9チーム以下の場合には3位まで
 - ・12チーム以下の場合には4位まで
 - ・15チーム以下の場合には5位まで
 - ・16チーム以上の場合には6位まで
- ④総合成績で1位~3位まで表彰する。
- ⑤WAKO'Sクラスはチャンペンファイトのみの表彰とする。

◆シリーズ表彰について

- ①ハーフクラス、WAKO'Sクラスを除くクラスはシリーズ表彰の対象になります。
- ②表彰基準は 第1ドライバー に対してP o i n tを与え、獲得ポイントの上位(1位~3位)を表彰する。
 - *シリーズP o i n t獲得のために第1ドライバーは第1戦~第3戦まで同じにしてください。
 - *クラスも第1戦~第3戦まで同じで参加してください。途中で変更はP O I N Tが無効になります。
- ③シリーズ表彰はシリーズ3戦中で2戦以上参加した第1ドライバーが対象になります。
- ④第2戦のクラス区分は第1戦と第3戦のクラス区分とは違うので、今回のクラス別ポイントをそのまま第1戦と第3戦のクラス区分に反映する。

◆WAKO'S賞(副賞)について

- ・クラス別に入賞者に副賞があたります。
- ・副賞対象の順位及び副賞対象のチーム数はブリーフィングで発表します。

◆サーキット保険への加入のお願

サーキット走行時に適応されるスポーツ保険への加入をお願いしています。義務ではなくてお願いなので加入の有無は参加者各自で判断するようにしてください。イベント時に保険を適応するためには 各大会の1週間前までにサーキット保険への加入手続きを完了する事。サーキット指定のスポーツ保険に期日までに加入していないドライバーが怪我などをした場合には一切の保障はありません。以上のサーキット保険の事を十分にご理解いただけただけの方のみイベントに参加してください。なお、このイベントに参加申し込みをした方は ” 任意で加入するサーキット指定のスポーツ保険の事を理解してた ” と理解させていただきます。

◆監視ポストで出される信号旗の意味

<p>○黄旗 トラックわき、トラック上に危険箇所あり。徐行、追い越し禁止。</p>	<p>○緑旗 トラックが走行可能(コースクリア)。黄旗区間(追い越し禁止区間)解除。</p>	<p>○青旗 他の競技車両が接近、追い越しを行おうとしている。</p>	<p>○白旗 トラック区間に低速走行車両あり。</p>	<p>○赤の縦縞のある黄旗 路面が滑りやすい。</p>
<p>○黒旗 指示を受けたドライバーは、次の周回車両に機械的欠陥が生じている。次の周回時に自己のピットに停止すること。</p>	<p>○黒旗にオレンジ色 競技の中止。ドライバーは直ちに速度を落とし、ピット(あるいは指定された場所)に進行すること。必要に応じて停車できる態勢をとること。追い越し禁止。</p>	<p>○赤旗 競技の中止。ドライバーは直ちに速度を落とし、ピット(あるいは指定された場所)に進行すること。必要に応じて停車できる態勢をとること。追い越し禁止。</p>		
<p>★追越し禁止区間★(C車はB車を追い越してはいけません。)</p> <p>事故車A</p> <p>★追越し禁止解除★(C車はB車を追い越してもいいよ。)</p>				
<p>*黄色い看板で黒い文字で提示* 該当車両は必ずP I Tに戻る事。</p>				
<p>○白旗に赤バツ(レドクロス)</p>				

- ①全部の監視ポストで”レドクロス”を不動表示します。停止している車両のレスキュー作業に入りますので全車両はコース内いかなる場所でも追い越しを禁止いたします。レスキュー活動が一番近い監視ポストでは黄色い旗を振動表示しています。
- ②レドクロス提示中の走行速度は、”40km/h”以下で走行すること。
- ③レスキュー作業が終了して”レドクロス”を解除するときは、全ポスト”レドクロス旗”を”緑色の旗”に変更して振動表示します。監視ポストでレドクロスの撤去又は緑色の旗が振られたら追い越しもOK。
- ④ピットアウト時も40km/h以下厳守です。

◆燃料ライン改造について

”ガソリン引火性の危険”については参加者皆さん十分理解していると思いますがよりドライバーの安全を確保するために下記の事項をお願いします。
①コレクタータンクは1車両に1個とし燃料ライン(コレクターを含む)がドライバーと同室内を通過する場合は必ずドライバーに燃料がつかからない処理をする事。
②燃料が室内に漏れている(匂いもする)場合は走行を禁止する。
③燃料ラインとバッテリーは同室内にあってはならない。絶対に部屋を分ける事。

◆燃料関連事項◆

ドライバーの安全確保が最優先事項なのでご理解願います。
①コレクタータンクを除き、燃料タンクはドライバーと同室内にある事は一切認めない。
②燃料タンクのサイズアップも一切禁止とする。